



消防局

一般会計要求総額

3,830百万円

(対前年度予算 +26.8%)

【平成30年度 予算要求の経営方針】

「市民の生命、身体及び財産を災害などから守る」という使命のもと、北九州市基本構想・計画に基づき「健康で安全・安心な暮らしの実現」に取り組んでいくとともに、全国各地で発生した大規模災害の経験と教訓を踏まえた災害対策や、焼死者防止対策など地域と一体となった災害対応力の推進に取り組みます。

さらに、災害需要や社会情勢の変化を見据え、将来に向けた消防力の整備を進めます。

【平成30年度 予算要求の基本的な考え方】



：新規事業



：拡充事業

地域の総合的な災害対応力の強化 要求額 162百万円 (対前年度比+0%)

消防団の充実強化
市民防災活動への支援等
応急手当の普及啓発活動の推進

高齢者等災害弱者の安全・安心対策の推進 要求額 60百万円 (対前年度比+0%)

- ① 女性消防団員の活躍推進
- 緊急通報システム事業
- あんしん通報システム
- いきいき安心訪問の推進
- 住宅防火対策の推進

あらゆる災害に対応できる消防力の強化 要求額 358百万円 (対前年度+122%)

- ① 大規模災害対策用資器材の充実強化
- ① 消防高度化に関する調査研究
- ① 救急ワークステーション移転新築
- ① 救急体制の充実強化

消防施設等の整備

要求額 1,924百万円 (対前年度比+49%)

門司消防署建替新築
八幡西消防署移転新築
(仮称) 楠橋分署移転新築

※公開時点での予算要求の内容であり、平成30年度に実施することが確定しているものではありません。